

令和7年度日本剣道少年団研修会（意見発表会）東北・新潟地区大会結果

令和7年11月24日（月・振休） 宮城県仙台市 ホテル白萩 萩の間



小学生の部 最優秀賞 池田 結子さん6（和合道場） 全国大会へ
中学生の部 優秀賞 沓澤 仁さん2（東栄館）



東北大会最優秀賞の盾を手に、道場の仲間たちから激励を受けて笑顔を見せる池田結子さん（中央）

＝庄内町

出場するのは、東京武道館で3月8日に開かれる日本剣道少年団研修会の体験・実践発表会。全日本剣道道場連盟が主催し、全国各ブロック代表の小学生、中学生9人ずつが出場する。内容や表現力、発表態度などが審査され、最優秀に選ばれ、今夏、日本武道館で開かれる同連盟主催の全国大会の際、約1万人の前で発表する。

池田さんは昨秋以降、道場内の選考を経て、田川地区、県の発表会を経て、昨年11月に仙台市で行われた東北大会で、出場8人の中で最優秀となった。作文の題に選んだ「不断の努力」は、剣道と共に取り組む書道で出合った言葉だ。けがをし

小中学剣士の全国体験発表会 池田さん（庄内町）出場へ

不断の努力 自分に挑戦 剣道通した決意つづる

庄内町の余目武道館和合道場で剣道に取り組む立川小6年池田結子さん（12）は3月、小中学生が剣道を通して学んだことを発表する全国大会に、東北代表として出場する。池田さんは「不断の努力」の題で、自分自身への挑戦を続けていく決意を1600字の作文にまとめ、東北大会小学生の部で最優秀賞となり出場権を獲得した。

て剣道の練習ができなくてつらかった時、この言葉を通じて仲間と一緒に頑張ってきたことを思い出し、諦めずに挑戦を続けようという決意した心境をつづった。

指導する阿部主代表（右）は池田さんについて「なかなか試合で勝てない時も、こつこつ積み上げる努力ができる子」と評価する。池田さんは「先生方や仲間、家族がいたから努力を続けられた。剣道も書道も頑張りたい」とし、「発表でも、自分が出せるものを出し切りたい」と意気込みを語った。



小学生の部



中学生の部

山形新聞 R8年（2026） 1月24日（土）